

令和6年度 学校経営計画

学校名 江田島市立大古小学校

I ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

生涯を自立的に生き抜き、未来を切り拓くために必要な資質・能力を育成する。

- 確かな学力と豊かな心と健康でたくましい体を育成する。
 - ・他者と協働し、主体的に学び続ける。
 - ・自らを律し、他人を思いやり、夢や目標に挑戦する。
 - ・自己管理能力を高め、主体的に自らの健康や体力の向上を図る。
- 積極的に情報を発信し、地域・保護者との連携を図る。

II ビジョン（めざす学校像・自校の将来像）

『学校教育目標』

ふるさとを愛し、未来を創る児童の育成
～自分をつくるのは自分～

【児童像】

- 「時を守り、場を清め、礼を正す」子
- 自律的に学び、協働して解決する子
- ふるさとのよさや自分のよさを発見する子
- 自分たちの学校を自らの手でつくる子

【学校像】

- 元気いっぱい笑顔あふれる学校
- 児童が誇りを持つことのできる学校
- 安全・安心な学校
- 家庭・地域から信頼される学校

【教職員像】

- 子ども一人一人の可能性を引き出し、支援する教職員
- 学び続けている教職員
- 組織の一員として協働し、責任と自覚をもつ教職員
- ウェルビーイングを実感して生活している教職員

III 現状分析

【知】

- ① 江田島市学力調査の全国平均比は、国語 99.5(101)、算数 103.4(101)であり、国語は目標値を下回った。
- ② 学年末テストの平均点は国語思・判・表は 89.0(85)、国語知・技は 86.9(85)、算数思・判・表は 81.3(83)、算数知・技は 88.9(87)であり、目標値を上回るものが多かった。

【徳】

- ① 生徒指導上の諸問題については、暴力行為 0、不登校 3、いじめ 0 であり、不登校児童数は増加した。
- ② 行事等で主体的に自分自身の力で取り組むことができた。さまざまな方々と交流する中で自己肯定感・自己有用感を育成した。
- ③ 児童アンケートにおいて、「自分にはよいところがあります。」と答えた児童の割合は 86.5%、「困難なこともがんばれる自信がある。」と答えた児童の割合は 88.6% であり、目標値は下回った。

【体】

- ① 体力・運動能力調査においては、50m走の記録が全国平均を上回る児童の割合 67.9%(68%) であり、昨年度より向上した。2分間走においては、各学年で設定した目標値達成の割合は 66.6%(66.6%) であった。
- ② 生活リズムアンケートにおける「早寝、早起き、朝ごはん」の3項目のうち、「早寝」の全児童合計達成率は、82.2%(78.5%) であり、目標値を上回った。

【信頼される学校】

- ① アンケートの肯定的回答の割合は「学校通信や学級だより等で、児童の様子や学校の取組がよく分かる。」で 98%、「大古小学校の現状に満足している。」で 97% であった。
- ② 業務改善及び働き方に関するアンケート調査を 3 回実施し、業務改善実施件数は 6 件であった。

()は目標値。

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
確かな学力	他者と協働し、主体的に学び続ける。	学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の中やすきま時間を使って、習熟のドリル等に取り組みさせる。 ○発達段階に応じた説明課題に取り組みさせる。 ○選択制家庭学習に取り組みさせる。
		授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○自学と協働的な学びを組み合わせた授業づくりに取り組む。 ○児童が見通しをもって学習を進められるように児童自身が学び方や学びの進み具合についての振り返りを1時間の授業に位置付ける。 ○教材研究と児童への働きかけについての研修を行う。
豊かな心	自らを律し、他人を思いやり、夢や目標に挑戦する。	自己肯定感・レジリエンスの育成	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育の充実を図る。 ・道徳教育推進リーダーを中心として中学校と連携した道徳の授業を行う。 ・行事前に学校の重点項目「思いやり・感謝」「希望と勇氣、努力」「親切」の教材を行い、行事と関連させた授業を行う。 ○相互の認め合い、評価により自信をもたせる取組を行う。 ・児童の実態に応じて、各学年で相互の認め合いができる取組を行う。 ○豊かな体験活動を推進する。 ・全学年で学期に1回以上体験活動を行う。 ○個の実態に応じた支援、指導を行う。
		規範意識の高揚とルールの定着	<ul style="list-style-type: none"> ○生活目標の取組を徹底する。 (あいさつ、返事・時間までに静かに集合・だまって掃除、言葉遣い) ・月ごとに目標を設定し、毎月、児童に自己評価させる。 ・全職員で随時、全児童の評価を行う。 ・学期ごとにあいさつについて相互評価させる。
健やかな体	自己管理能力を高め、主体的に自らの健康や体力の向上を図る。	健康で自律した生活習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○学活・保健朝会・ミニ保健指導において、メディアコントロールを中心とした保健指導を5回以上実施し、早起きの定着を図る。 ○年3回生活リズムウィークを設定して生活リズムチェックを実施し、課題のある児童の個別指導や事前指導を行う。
		体力・運動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○体力の向上をめざし、ドリル運動等を組み込んだ授業改善、外遊び及び全学年の体力向上運動の充実を図る。
信頼される学校	積極的に情報を発信し、地域・保護者との連携を図る。	地域・保護者との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標の具現化に向けた取組や児童の状況をタイムリーに通信やHPを通して積極的に発信することで、学校満足度を向上させる。
		働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ボトムアップによる業務改善を積極的に行い、ウェルビーイングな職場環境を実現する。